

## 6. 症例報告

### SIDS (広義) 2 症例と疑わしきもの 1 症例 及び Abortive SIDS の疑われたもの 1 例

愛育会総合母子保健センター 高橋悦二郎

	症例1) Y.M.	症例2) H.L.	症例3(?) K.C.
死亡年月日	1983年 1月27日 午後6時頃	1983年 6月21日 午前8時頃	1983年 9月25日 午後5時頃
性別	男	女(英国人)	男
年齢	1歳4月	7月	3才2月
異常発生時の状態	前日迄元気、入浴安眠、 1/27朝、39.2°C不機嫌、 せき(-)、嘔吐(-)、下痢(-) 10am頃外来受診「かぜ」と いう事で投薬受け帰宅。 帰宅後食事殆どとらず、 1.00pm眠る。おやつも欲 しからない。(4.00pm) 6.00pm頃、夕食の為声を かけたが返事がない。呼 吸もしていないようなの で急いで外来へ。6.20pm 病院到着時、心音(-)、呼 吸反応なし、挿管し蘇生 行うも反応なし。	前日5.00pm、ミルク200cc のみ就寝。1.00amおもつ かえた。8.15am頃、母親 がミルクを与えにベッド に行った所、うつぶせに なって居り、高熱でぐっ たりしていたので急いで 来院した。 8.35am診察、自発呼吸(-) 心音(-)、体温39°C、口唇 指端チアノーゼ、O <sub>2</sub> 吸入 心マッサージ、挿管、ボ スミン心内へ、死亡確認	10.00am頃嘔吐(今朝から 6回)を主訴として来院 熱(-)、咳(-)、下痢(-)、昨 日迄元気、腹部やや膨隆 気味以外特別な所見(-)、 体重15.5kg、クロールブ ロマジン10mg等の投与う け帰宅。 帰宅後眠る。 夕方5.00pm頃母親が子供 部屋に行ったら死亡して いた。
出生時体重	3640 g	3600 g	-
妊娠中異常	(+) 浮腫	(-)	(-)
分娩時異常	(-)	(-)	(-)
新生児期異常	(-)	(-)	(-)
同胞の有無	兄1人	兄3人	
部 検 所 見 (何れも東京都監 察医務院)	間質性肺炎	間質性肺炎	不 明

●症例 Abortive S.I.D.S (?) S.S. ♂ 昭58年7月13日生 (3ヵ月)

主訴：顔面蒼白発作 6 × (殆ど寝入ってすぐの時)

家族歴：第1子 父 (31歳) 母 (27歳) 共に健康、両親の祖父母皆健。

妊娠、分娩歴：初回妊娠、初回分娩、妊娠6ヵ月に子宮口開き、切迫早産にて16日間入院、在胎40週3306gにて頭位自然分娩。

既応歴：生後すぐ授乳中に顔面蒼白になった。母乳は4日で止めた(徳島医大病院)。鼻ぐすぐす口を開き呼吸している事多く、ハスキーな声であった。 8/31、22.00p.m.乳首を口につけている時、顔面蒼白になりぐったりしている。

徳島大小児科に行き、E.C.G. 胸部X-P: W.N.L.

9/2 上京中車中で蒼白になる。

9/8 8.00p.m.頃、又顔面蒼白となる。発作の後弱々しく泣く。

9/10 抱いていた時同じ症状、数秒で戻る。

10/15 入浴後、おしゃぶりくわえていて同様発作。

10/17 2.00p.m.頃、ミルク飲み終り、バギーにのってうつらうつらした時又発作。

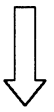
10/24 ①不全型SIDS ②Epilepsy ③代謝異常 ④心異常等を疑い、検査の為入院。

入院時所見：体格大、栄養良、胸部、腹部、心音等特に異常なし。neurologicalの所見としても特に問題なく head control(±)、toe grasp R(+) L(+), Babinsky R(±) L(±)、Traction responsにて肩の引き少し弱い、上肢の引きはよい。

検査所見：血算、検尿、血清生化学、特に問題となるものなし。E.E.G. (normal, epileptic discharge(-)、basic rhythm—n.p. laterality(-)、心拍モニター Active sleep. quiet-sleep 出現。Heart Deceleration(-)、Apnea(-)。 (いつも prone position—後鼻孔の狭窄?)



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



SIDS(広義)2 症例と疑わしきもの 1 症例及び Abortive SIDS の疑われたもの 1 例